

# リンク機構で『びよんキャッチ』

信州大学 教育学部 機械技術研究室

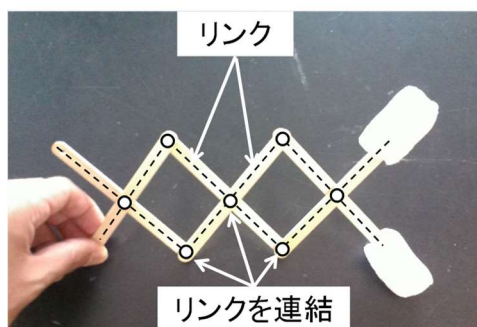
川久保英樹・山本萌々・北澤拓海・中島聖奈

## 1. ねらい

リンク機構は、日常生活のいろいろなところで活用されており、細長い棒状の部品を組み合わせて作ります。機械の中に組み込むことで、一定の仕事ができます。これを活用したものの例として、自動車のワイパー、ショベルカーなどの建設機械があります。今回はリンク機構の中から伸縮ハンドの機構を使って、ものをつかめるリンク機構、その名も『びよんキャッチ』を作ってみましょう！

## 2. 用意するもの

- ・アイスの棒(6本以上)
- ・ボルト
- ・ナット
- ・スプリングワッシャー
- ・緩衝材やスポンジ



伸縮リンク  
(棒状の部品の組み合わせ)

## 3. 作り方

手順① アイスの棒にけがきします。(穴をあける位置にしるしをつける。)

手順② けがきに合わせてボルトよりも少し大きめの穴をあけます。

(きりやハンドドリルでも大丈夫。大人の人に手伝ってもらおう！)

手順①



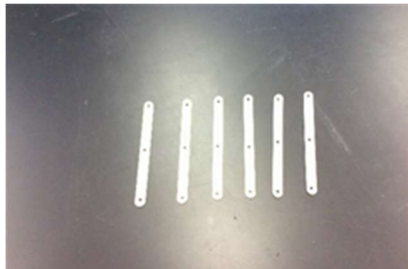
手順②



てじゅん  
手順③ こんな風にあけられたら準備完了。

てじゅん  
手順④ 交互に組み立てます。

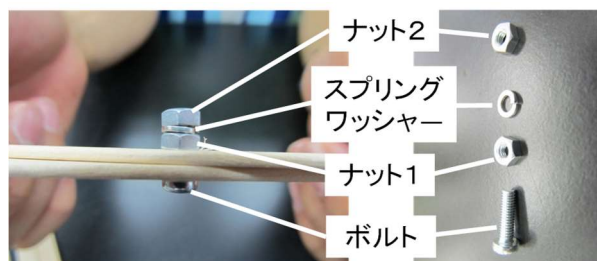
てじゅん  
手順③



てじゅん  
手順④

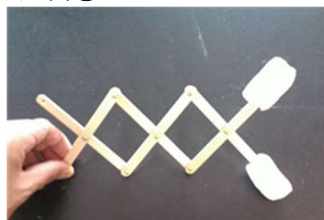


このとき、ナット 2個とスプリングワッシャー1個を写真のように順番に組み合わせると、ナットがゆるみません。



てじゅん  
手順⑤ これらをつなげて伸ばし、先端に緩衝材やスポンジを取り付けます。

てじゅん  
手順⑤



てじゅん  
手順⑥ 完成！！ ものがつかめるよ。試してみよう！

